

第1章 計画準備

1 業務計画

1.1 業務概要

1.1.1 業務の目的

本業務は、東京南西部における地域特性及び最新の事業計画等を踏まえ、環境への影響も考慮し、当該地域の道路に求められる役割を果たす路線について概略検討を行うものである。

1.1.2 業務概要

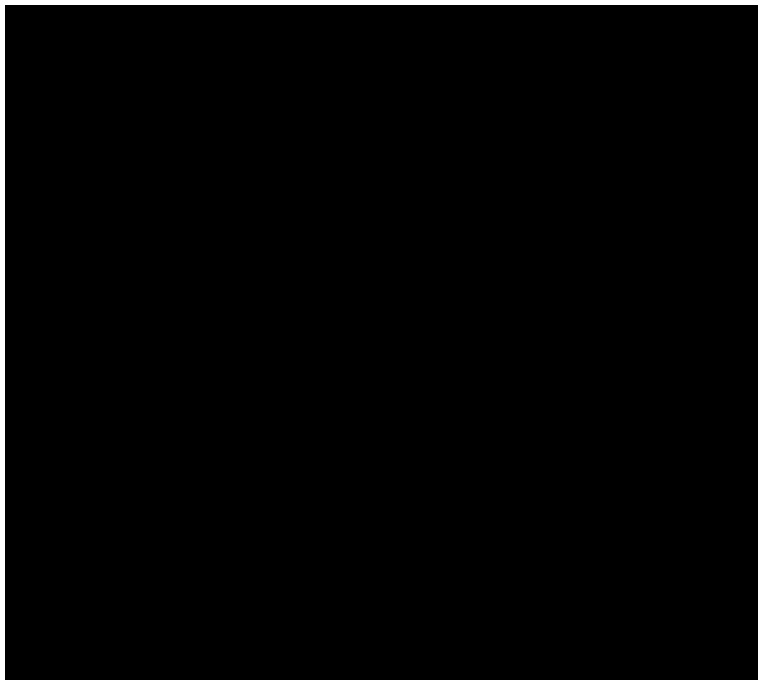
- | | |
|-------------|---|
| (1) 業 務 名 | : R 4 東京南西部概略計画検討業務 |
| (2) 履 行 範 囲 | : 東京南西部 |
| (3) 受 注 金 額 | : ￥25,201,000 (税込み)
￥40,491,000 (税込み) 第1回変更
￥48,015,000 (税込み) 第2回変更 |
| (4) 履 行 期 間 | : 令和4年4月15日～令和5年3月31日 |
| (5) 発 注 者 | : 東京外かく環状国道事務所 |
| (6) 受 注 者 | : パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社 |

管理技術者 :

照査技術者 :

担当技術者 :

支援技術者



1.2 業務内容

対象となる内容は以下に示す。

表 1-1 業務内容

業務項目	単位	数量	摘要
1. 計画準備	1	式	
2. 路線の比較検討	1	式	東名高速道路～第三京浜道路間の路線の比較検討 1) ルート概略検討  2) 既往成果の修正（図面・数量）および比較検討
3. 路線の概略検討	1	式	路線の概略線形検討及び代表断面での構造検討 1) 他事業と連携した道路構造の検討 2) JCT整備における法制度の整理 3) 地質条件の整理
4. 路線の予備検討	1	式	
5. 概算事業費算出	1	式	
6. 報告書作成	1	式	
7. 打合せ	1	式	5回 (中間3回)

1.2.1 実施フロー

下記に示すフローに従い、業務を実施する。

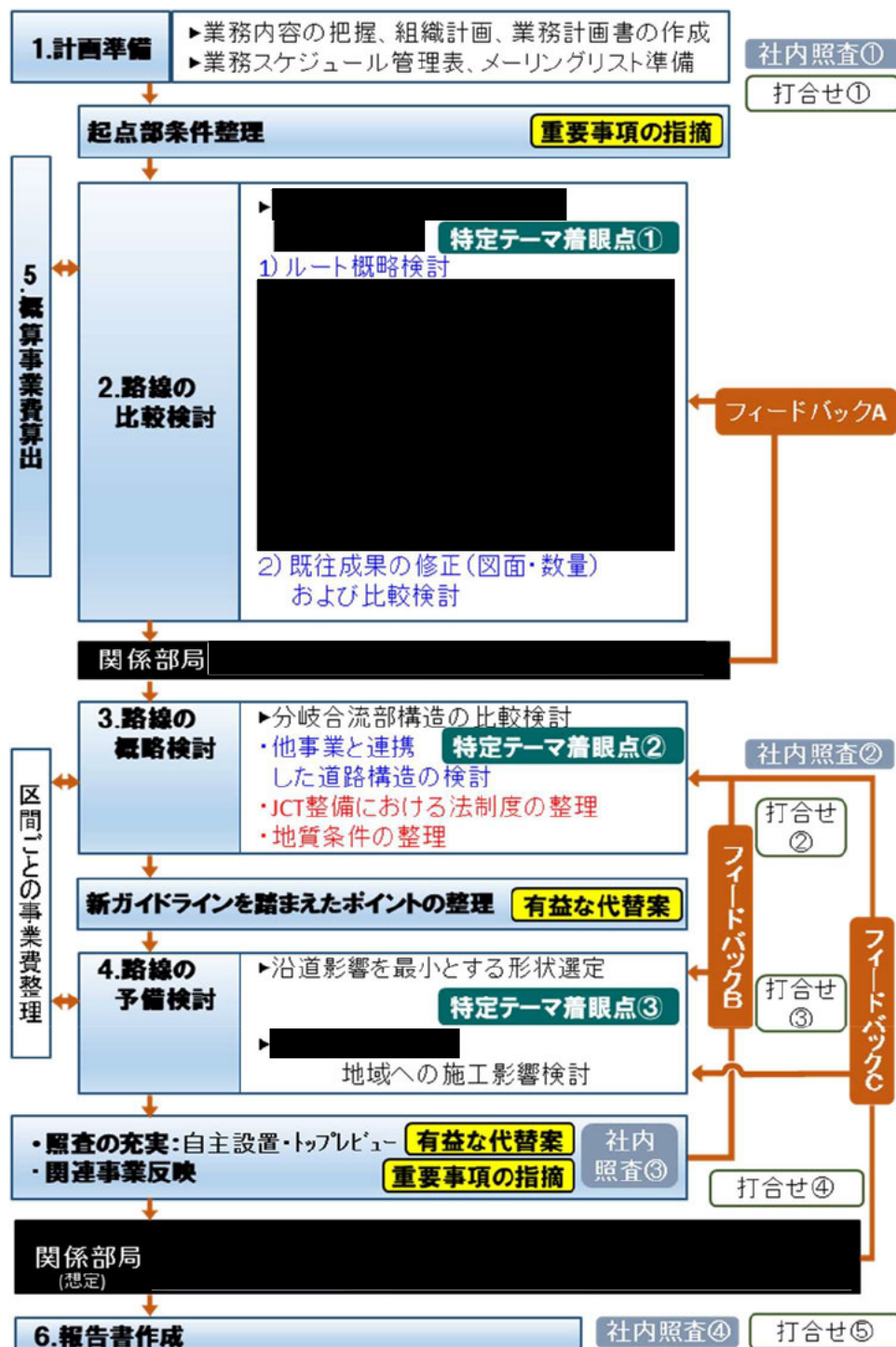


図 1-1 検討フロー

1.2.2 計画準備

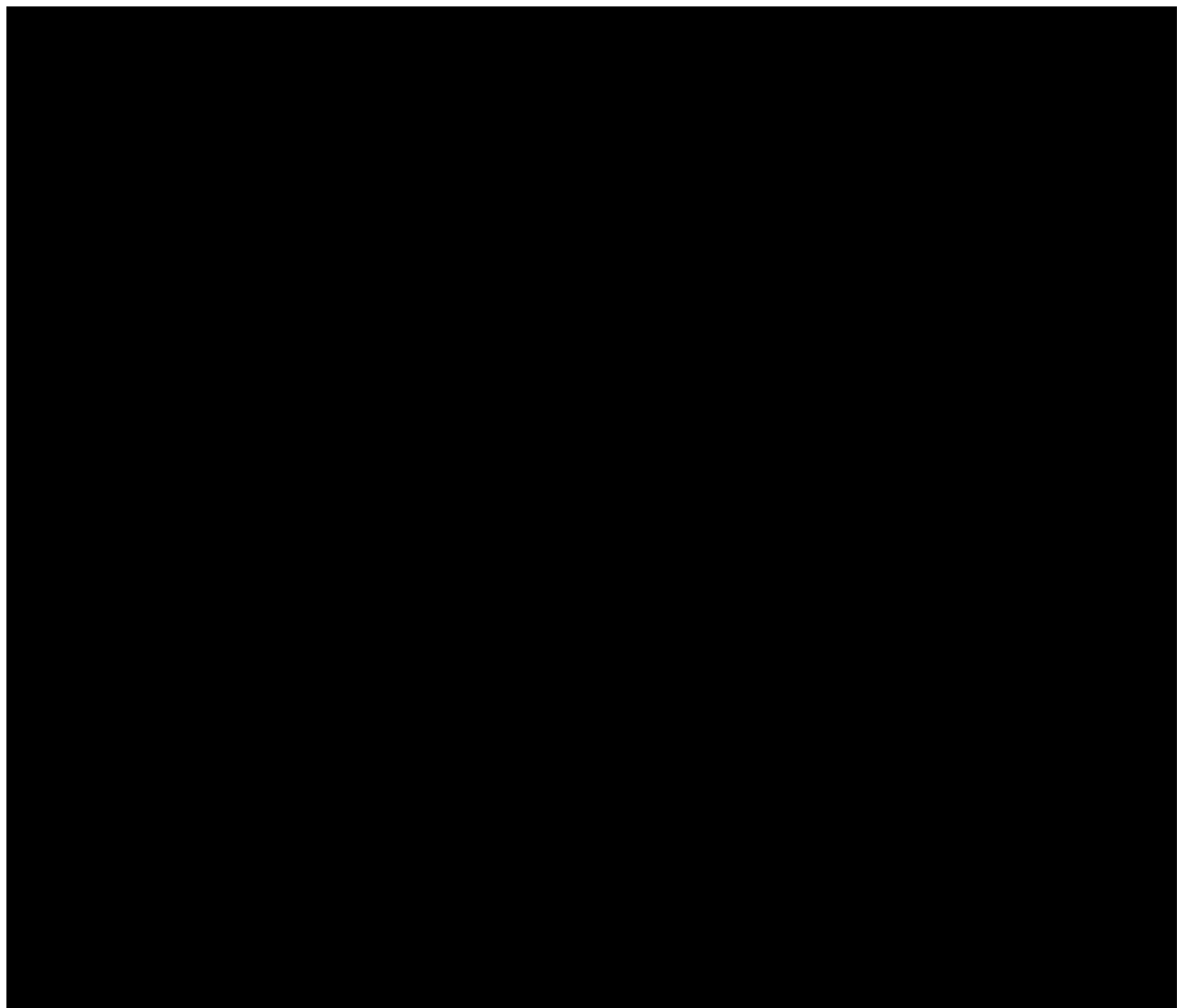
本業務の目的・趣旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、調査職員に提出し、業務を行った。

1.2.3 路線の比較検討

最新の知見を踏まえ、東名高速道路～第三京浜道路間の路線の比較検討を行う。

(1) ルート概略検討

ルートの簡易的な概略検討（5案）（設計計画、設計図、事業費算出）を行い、他案との比較を行う。なお、現地踏査、路線選定および主要構造物計画、横断設計、関係機関協議資料の作成は行わない。具体については下記方針にて実施する。



(2) 既往成果の修正（図面・数量）および比較検討

既往成果について、各案図面および数量・事業費を更新し、他案との比較を行う。

1.2.4 路線の概略検討

1.2.3 で検討した結果を基に、路線の概略線形検討及び代表断面での構造検討を行うものとする。また、併せて連結施設の概略検討を行う。

(1) 他事業と連携した道路構造の検討

他事業と連携した道路構造について検討する。

(2) JCT 整備における法制度の整理

JCT の整備と土地の高度利用に関連する法制度について、その内容や関連する事例を収集・整理し、検討する。なお、具体的図面などの作成は行わない。

(3) 地質条件の整理

1.2.5 路線の予備検討

1.2.6 概算事業費算出

他事業の事例を参考にし、過年度算出した概算事業費の更新を行うものとする。
実施にあたっては、区間ごとの事業費整理検討として①今後の暫定供用の可能性や、施工方法などの変更を見据え、JCT 間などの区間毎に事業費を算出することで、工法や線形変更の効果が明確になるよう整理する。②東京外環（関越～東名）（以下、以北）区間の事業進捗に伴い、以南計画に反映可能な事業費単価について反映し、事業費精度向上を図る。

2 情報収集

業務に当たり情報収集、前提条件の整理を行った。

表 1-2 関連情報の一覧

項目	具体的内容
関連情報	東京外環（東名～湾岸）、川崎縦貫道路Ⅱ期
関連する都市計画	都市計画道路（外かく環状道路東名以北、川崎縦貫道路、国道 409 号）
治水関連	令和元年度台風 19 号に伴う被害、多摩川緊急治水対策プロジェクト
大規模施設	東京外かく環状（東名道～湾岸道）、リニア中央新幹線、蒲田駅周辺整備等々力大橋（仮称）、谷沢川分水路工事
周辺連絡施設	東名 JCT、大師 JCT
コントロールポイント	地形、地質、河川、地物（建物外周柵、道路縁、軌道の中心、医療機関、学校、幼稚園、警察署、公共施設、国都道府県の機関、市町村役場、公的集会施設、都市公園、文化施設、古墳・史跡・文化財、高層建物、大規模施設、寺社、仏閣）、用途地域

既往成果（R 3 年度東京南西部概略計画検討業務）からの更新点は以下に示す通りである。

表 1-3 関連情報の一覧

大項目	小項目	確認情報
関連情報	外かく環状道路	R3 参考 URL 東京外かく環状国道事務所 HP (http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/gaiyo/index.html) 上記 URL の情報の更新を確認。 関東地方整備局 URL https://www.ktr.mlit.go.jp/road/shihon/index00000039.html
	その他	(1) 横浜環状道路 R3 参考 URL 横浜市道路局 HP 横浜環状道路位置図 (https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/kensetsu-kanjodouro/kanjodouro.html) アクセス不可 R4 参考 URL 横浜市道路局 HP 横浜環状道路位置図 (https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/kousokudouro/kanjodouro.html) 221226 確認 R3 参考 URL アクセス不可のため URL 更新。また位置図が変化していたため図を更新
大規模施設	リニア新幹線	R3 参考 URL リニア中央新幹線 HP 図 1-20 ルート計画図 (http://linear-chuo-shinkansen.jr-central.co.jp/plan/) 230112 確認 ルート計画図内の駅名の色が変わっているため図を更新 ※ルート自体に変更なし R3 参考 URL JR 東海 HP 図 1-21 路線計画（平面計画）、図 1-22 路線計画（縦断計画）、図 1-23 路線計画（縦断計画） (https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/daishindo/shiyoninka/) 230116 確認 変更なし

2.1 関連情報の整理

2.1.1 外かく環状道路

東京外かく環状道路は、都心から約 15 km の圏域を環状に連絡する延長約 85 km の道路であり、首都圏の渋滞緩和、環境改善や円滑な交通ネットワークを実現する上で重要な路線とされている。

これまでに大泉 JCT から高谷 JCT までの約 49 km が供用されている。



[JCT・ICは仮称・開通区間は除く]

図 1-2 東京外かく環状道路全体計画と幹線道路網図

出典：東京外かく環状国道事務所 HP (<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/gaiyo/index.html>)

2.1.2 川崎縦貫Ⅱ期

川崎縦貫道路は、南北に細長い川崎市域を縦断方向に結び、川崎市の都市機能の向上を図るとともに、首都圏の広域交通ネットワークを形成する幹線道路として、東京湾岸道路（アクアライン）から東名高速道路に至る区間が計画され、事業中である2期区間（浮島～国道15号間）と、計画の具体化に向けて調査・検討中の2期区間が存在する。ここでは調査・検討中の2期区間について記載する。



図 1-3 川崎縦貫Ⅱ期構想

出典：川崎市 HP (<https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000096272.html>)

2期区間（国道15号～東名高速道路間）については、外環道の東名高速～湾岸道路間の計画の具体化に向けた意見交換、検討の場として、「東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会」が設立され、川崎市も参画し、当該区間の計画の具体化に向けた検討が進められている。

引用：<https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000096272.html>

東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会における起終点の位置付けを下図に示す。

起終点(湾岸道路との接続位置)

国土交通省



※:一例として区間を設定し、H27道路交通センサス混雑時平均旅行速度より所要時間を算出。外環道(関越～東名、東名～湾岸)は80km/hと設定

13

図 1-4 東京外かく環状道路 湾岸道路との起終点検討

出典：国土交通省 関東地方整備局 道路部計画調整課記者発表資料

https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000753738.pdf

川崎縦貫道路Ⅱ期区間は、国道15号～東名高速道路間とする。多摩川をはさんだ対岸に計画されている東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）との調整を含め、幅広く検討する方針とされている。

外環道の東名高速～湾岸道路間の計画の具体化に向けた意見交換、検討の場として、「東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会」が設立され、計画の具体化に向けた検討が進められている。



図 1-5 川崎縦貫Ⅱ期

出典：国土交通省関東地方整備局 道路部 計画検討協議会（第1回）

https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000753743.pdf

2.2 関連する都市計画

2.2.1 外かく環状道路（以北区間）

東京外かく環状道路は、首都圏の渋滞緩和、環境改善や円滑な交通ネットワークを実現する重要な路線とされている。

これまでに大泉 JCT から高谷 JCT の約 49km が供用されている。現在は関越道から東名高速までの区間約 16km の整備が進められている。

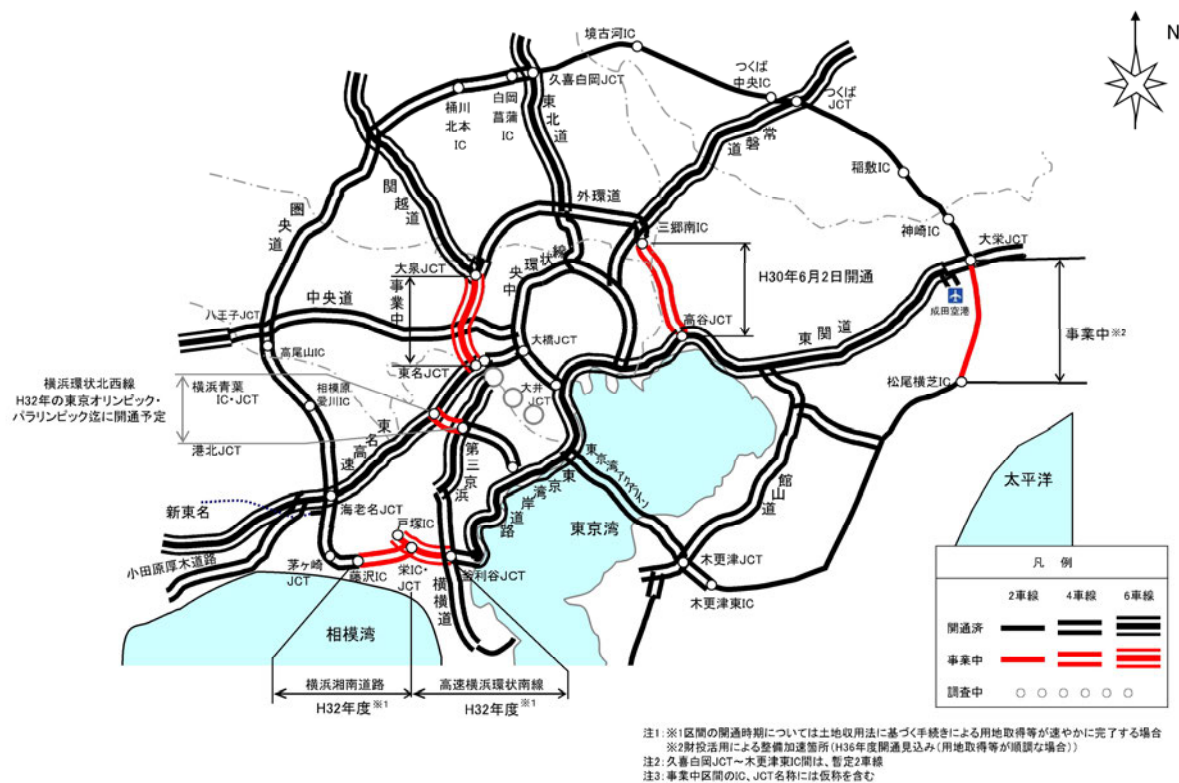


図 1-6 首都圏3環状道路の整備状況

出典：国土交通省関東地方整備局 道路部 計画検討協議会（第5回）

https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000753738.pdf

関越道から東名高速までの区間約 16km については平成 21 年度に事業化され、平成 24 年 4 月には、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社に対して有料道路事業許可がなされ、国土交通省との共同事業として進められている。

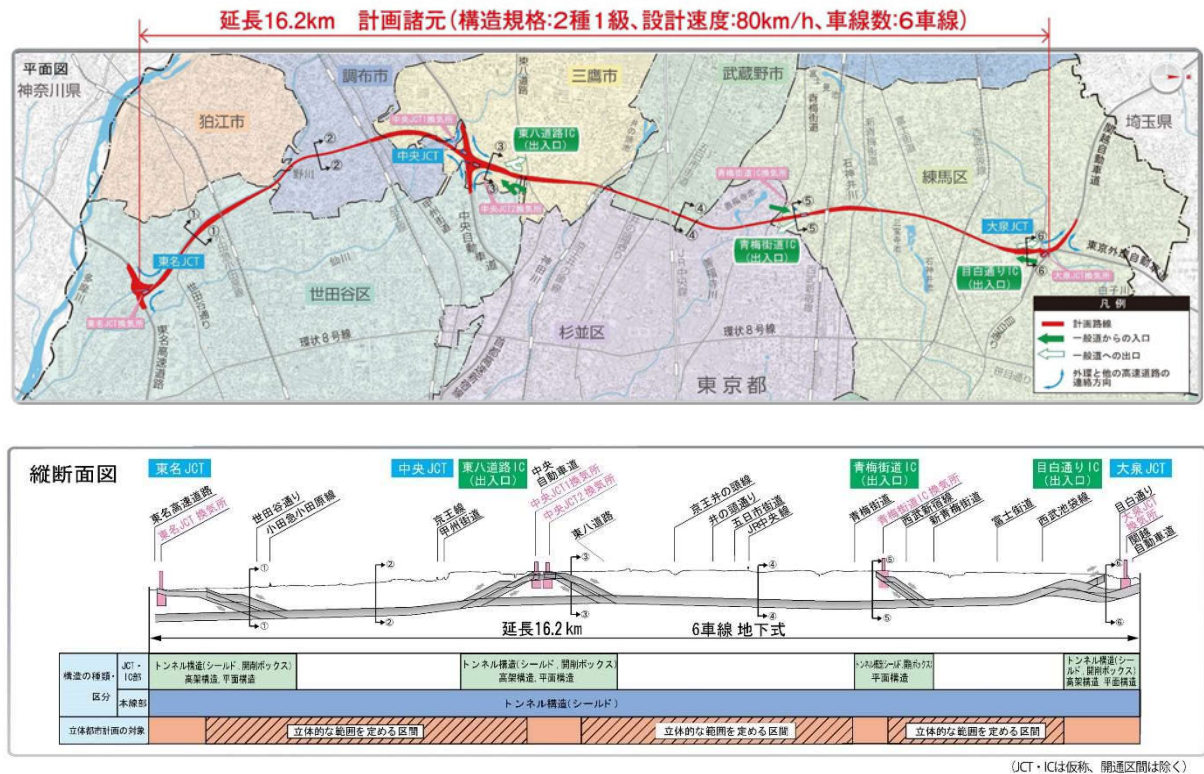


図 1-7 東京外かく環状道路(関越道～東名高速)計画概要

出典：東京外かく環状国道事務所 HP

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/gaiyo/index.html>

現在の進捗としては用地買収および工事となっている。



図 1-8 外環以北区間の進捗

出典：中日本高速道路株式会社 C3 東京外かく環状道路（中央 JCT－東名 JCT）の進捗状況

https://www.c-nexco.co.jp/corporate/operation/construction/progress/segment.php?construction_section_code=toumeityuou

2.2.2 川崎縦貫道路Ⅰ期

川崎縦貫道路は、川崎市の南北を結ぶ幹線道路の整備を行うことにより市内の渋滞緩和を図り、市内の各拠点を相互に連絡することで一体感のある都市を創る事業である。また、東京湾岸道路など他の幹線道路と一体となって広域的なネットワークを強化する。

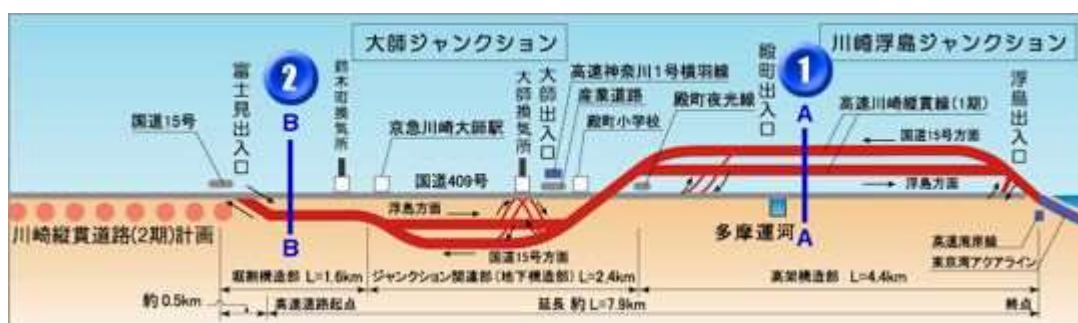
川崎縦貫道路（Ⅰ期）は、川崎市浮島 JCT～国道 15 号間の約 8.4 km の整備を行う。これまでに浮島 JCT～殿町出入口間の整備は完了し、浮島 JCT～大師 JCT 間が開通済みである。

道路構造は、浮島 JCT から大師 JCT までは高架構造、大師 JCT から富士見町までは、地下構造形式で計画されている。

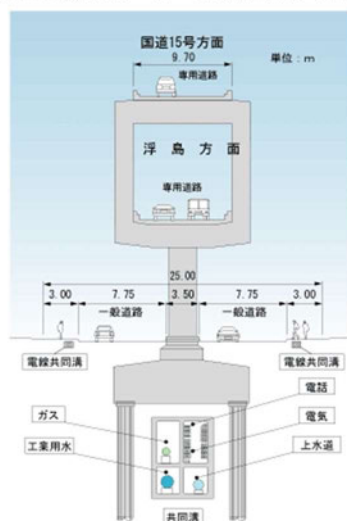


図 1-9 川崎縦貫道路位置図

出典：川崎国道事務所 HP (<https://www.ktr.mlit.go.jp/kawakoku/kawakoku00009.html>)



(高架構造部) A-A (施工区間)



(掘割構造部) B-B (計画区間)

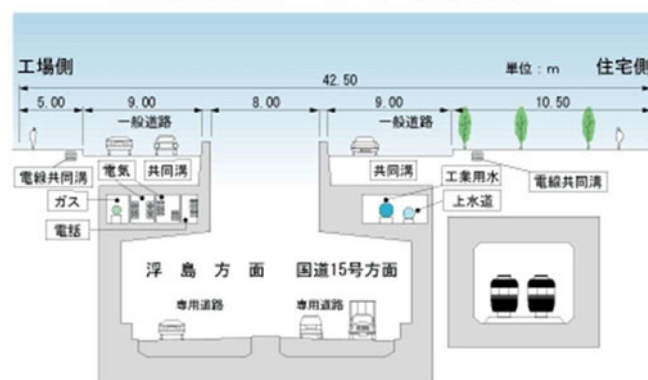


図 1-10 川崎縦貫Ⅰ期の道路構造図

出典：川崎国道事務所 HP (<http://www.ktr.mlit.go.jp/kawakoku/409/traverse/drawing.htm>)

既に、川崎浮島 JCT～大師 JCT 間で暫定供用されており、大師 JCT～国道 15 号間は施工中となっている。

＜川崎縦貫道路 これまでの経緯＞

平成 2 年 8 月	： 都市計画決定
平成 3 年 3 月	： 事業開始
平成 9 年 12 月	： 川崎浮島 JCT 開通
平成 14 年 4 月	： 川崎浮島 JCT～殿町（約 3.5km）開通
平成 21 年 3 月	： 大師出入口開通（横浜方面）
平成 22 年 10 月	： 殿町～大師 JCT（約 2.0km）開通



図 1-11 川崎縦貫道路事業位置図

出典：川崎国道事務所 HP (<http://www.ktr.mlit.go.jp/kawakoku/409/traverse/map2.htm>)

2.2.3 国道 409 号

国道409号の整備を進めています。

大師ジャンクション(JCT)～国道15号

大師ジャンクション(JCT)～国道15号までの区間は、一般部の国道409号を先行して整備していきます。このうち、地元協議の完了した国道15号～京急川崎大師駅前間の道路整備を行っています。

整備前



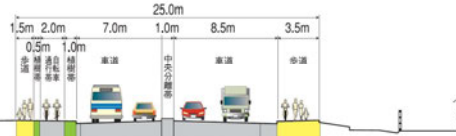
整備後イメージ



港町付近

標準断面図(①-①付近)

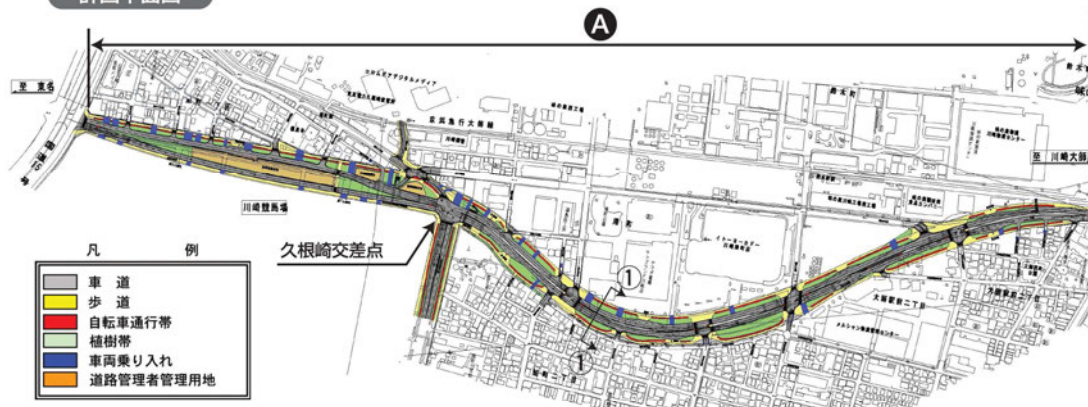
(現 況)

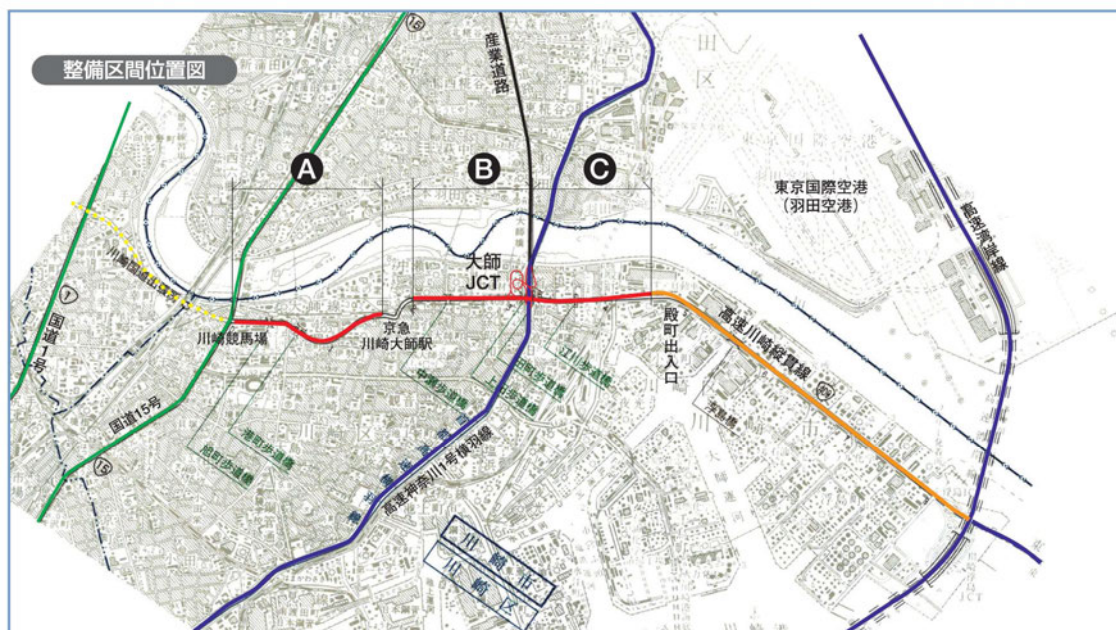


(計 画)



計画平面図

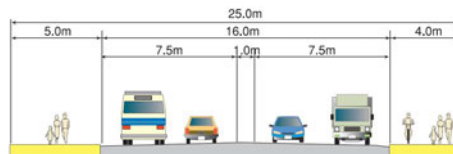




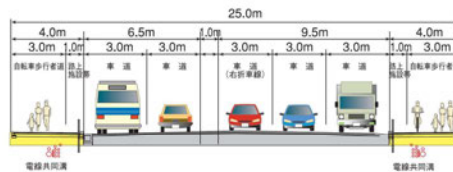
標準断面図 (②-②付近)

交差点に右折レーンを設け、安全性の向上を図るとともに、歩道の下に電線共同溝を整備し、電線類を埋設することにより無電柱化を行い、景観の向上を図ります。

(現 況)



(計 画)



計画平面図

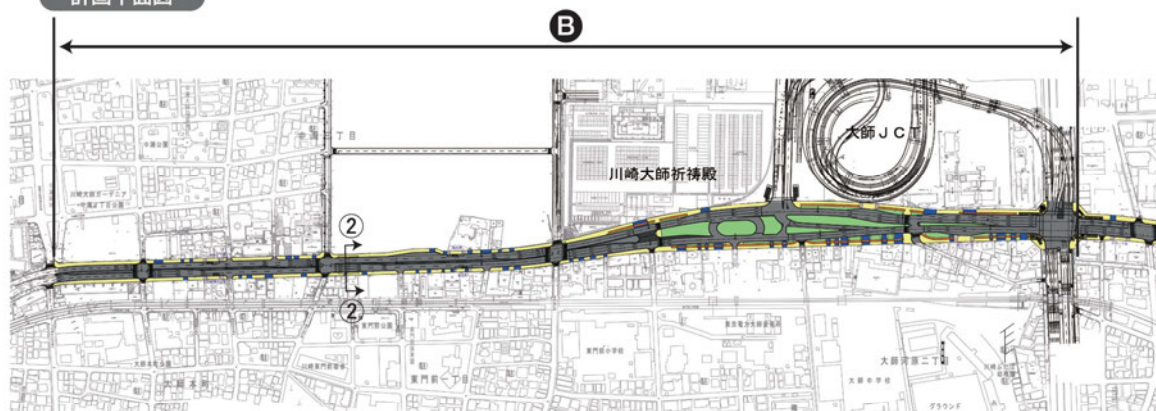


図 1-12 川崎縦貫道路

出典：国土交通省関東地方整備局川崎事務所 HP (p5-7)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kawakoku/office/pdf/traverse.pdf>

2.2.4 その他

(1) 横浜環状道路

横浜環状道路は、横浜の都心から半径 10～15km を環状につなぐ高規格道路であり、横浜環状北線、横浜環状北西線、横浜環状西線、横浜環状南線の 4 路線に分け、各々に計画が進められている。各路線の概要は以下の通りである。

高速神奈川 7 号横浜北線・横浜環状北西線が東名高速道路を介して外環道とつながることで、また、横浜環状南線が横浜湘南道路などと圏央道の一部として首都圏の広域的な道路網を形成することで、東北道や関越道・中央道など、全国各地へのアクセスが飛躍的に向上し、国際コンテナ戦略港湾である横浜港の国際競争力が強化される。

また、横浜環状道路の整備により、災害時の緊急輸送路が複数確保されることから、防災力の強化が図られる。さらに、こうした道路ネットワークの強化によって、既存道路の交通混雑緩和、移動時間の短縮、環境改善などの効果も期待されている。

表 1-4 横浜環状道路の状況

路線名	延長	起終点	道路構造	進捗状況
横浜環状北線	約 8.2km	港北 JCT (第三京浜) ～ 生麦 JCT (横浜羽田空港線)	往復 4 車線 設計速度 60km/h 第 2 種第 1 級	H12：都市計画決定 H13：事業着手 H29.3：開通
横浜環状北西線	約 7.1km	青葉 JCT (東名高速道路) ～ 港北 JCT (第三京浜)	往復 4 車線 設計速度 60km/h 第 2 種第 1 級	H15～17：概略計画策定 H23.3：都市計画決定 H24.7：都市計画事業認可 R2.3：開通
横浜環状西線	未定	国道 1 号戸塚 IC～ 第三京浜道路港北 IC	未定	ルートや構造について検討中
横浜環状南線	約 8.9km	釜利谷 JCT (横浜横須賀道路) ～ 戸塚 IC (国道 1 号)	6 車線 設計速度 80 km/h 第 1 種第 3 級	H7：都市計画決定 H11：工事着手 R7：開通見込み



図 1-13 横浜環状道路位置図

出典：横浜市道路局 HP (<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/kensetsu-kanjodoro/kanjodouro.html>)

(2) 横浜環状南線

横浜環状南線は、金沢区の横浜横須賀道路釜利谷 JCT から、栄区を通り、戸塚区の国道 1 号につながる自動車専用道路である。横浜環状道路の一部をなすと同時に、圏央道にも位置付けられている。



図 1-14 横浜環状南線の概要

出典：NEXCO 東日本 HP（よこかんみなみ） <http://www.yokokan-minami.com/site/>

(3) 圏央道 さがみ縦貫道路

神奈川県内の道路は、県央部を南北に走る幹線道路等が不足しているため、特に主要幹線道路の国道129号、246号の渋滞は著しく、県道から生活道路に至るまで交通混雑が見られ、日常生活や地域の活性化に支障を及ぼしている。

さがみ縦貫道路は県央部の体系的な道路ネットワークの整備を行い、道路交通の円滑化を図ることを目的として計画された自動車専用道路である。

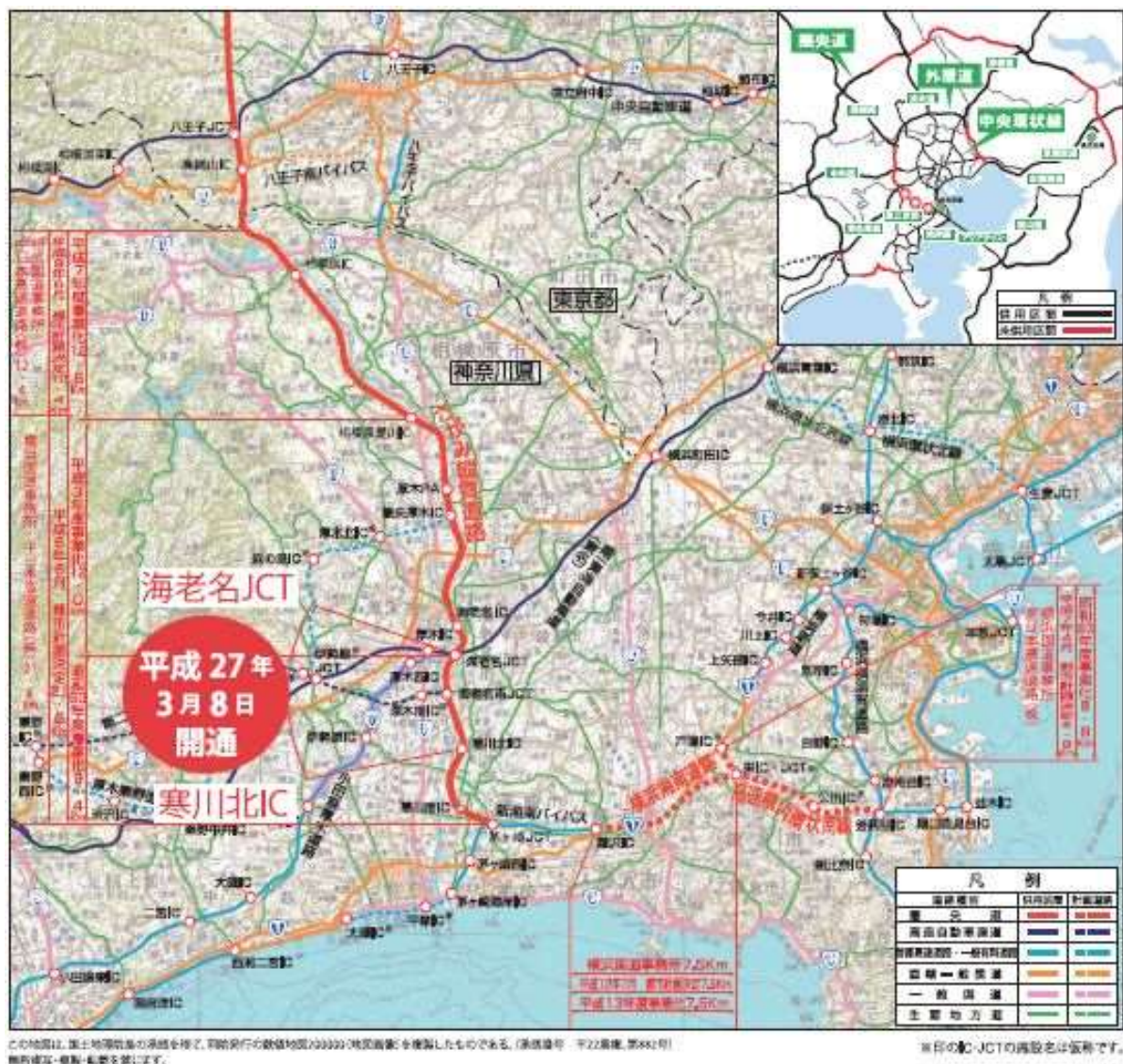


図 1-15 さがみ縦貫道路

出典：さがみ縦貫道路パンフレット(横浜国道事務所)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/02info/pdf/201511sagami.pdf>

<https://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/03sigoto/468/sagami.htm>

(4) 等々力大橋（仮称）

多摩川を跨ぎ都県を結ぶ約 400mの新設橋梁について H22 年度に都と川崎市で基本協定を締結し、調査、設計に着手。

東京都では、平成 28 年 3 月 28 日に事業概要及び現地測量説明会を行い事業化した。



図 1-16 (仮称) 等々力大橋位置図

出典：川崎市 HP 等々力大橋橋梁整備事業の概要について

<https://www.city.kawasaki.jp/530/cmsfiles/contents/0000121/121517/kodorokioohasi.jigyou.pdf>

位置図



図 1-17 (仮称) 等々力大橋位置図 (拡大図)

出典：川崎市HP 等々力大橋橋梁整備事業の概要について

<https://www.city.kawasaki.jp/530/cmsfiles/contents/0000121/121517/kodorokioohasijigyou.pdf>

設計位置および現況

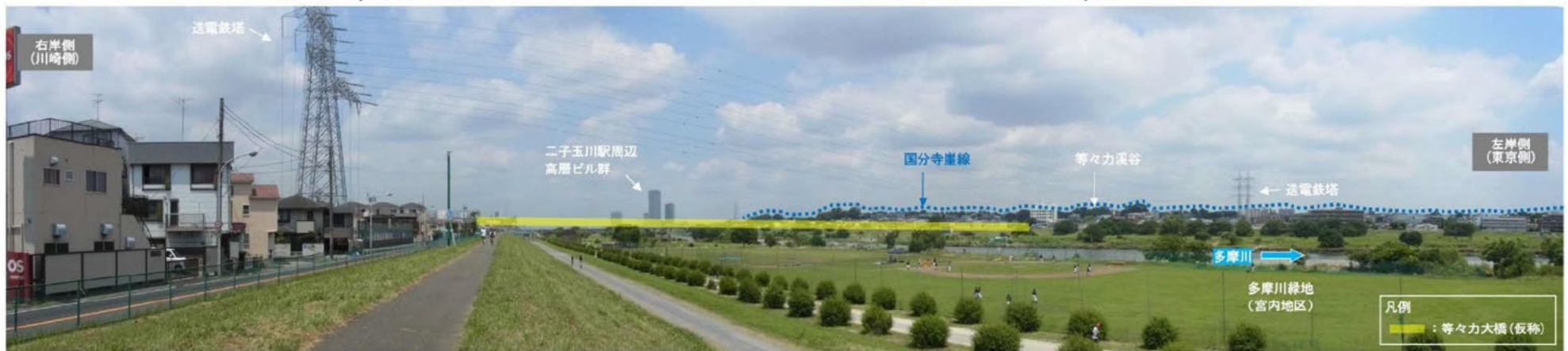
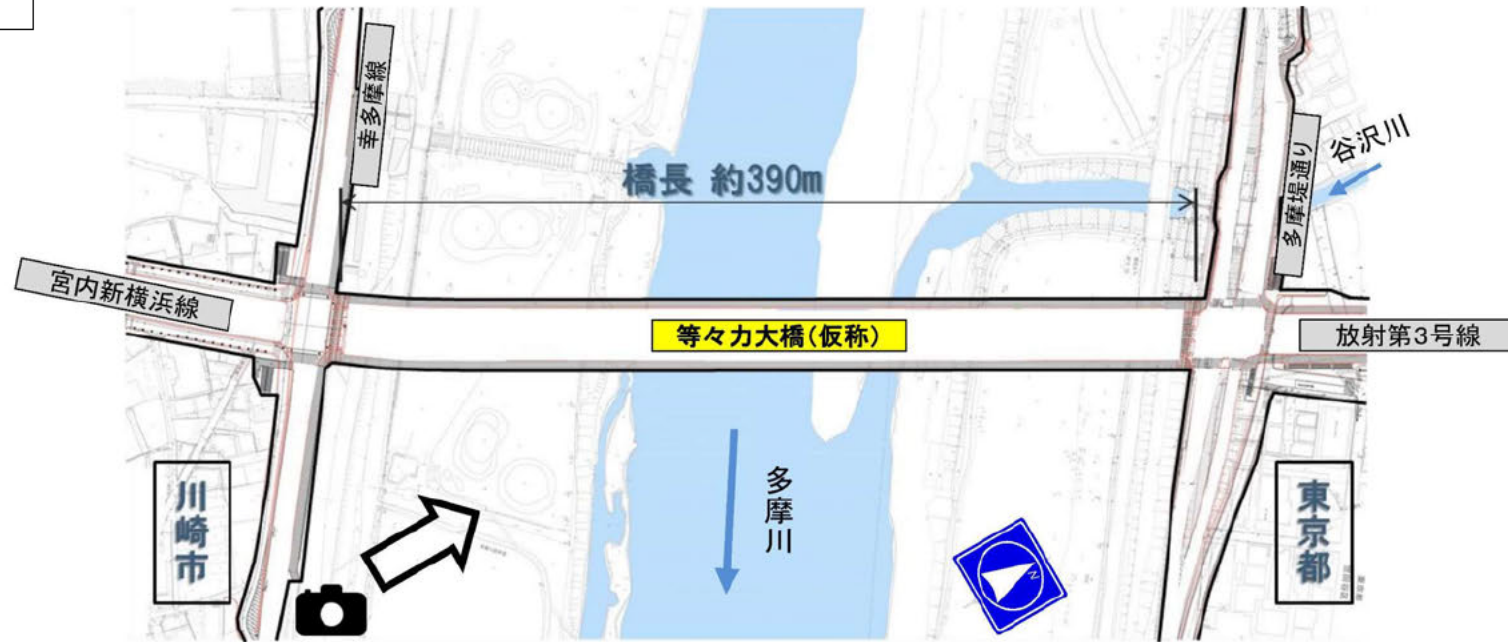


図 1-18 (仮称) 等々力大橋位置図 (拡大図) 及び現況

出典：東京都建設局道路建設部 令和2年度第3回事業評価委員会（資料4-6）
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000050335.pdf>

完成イメージ



図 1-19 (仮称) 等々力大橋完成イメージ

出典：東京都建設局道路建設部 令和2年度第3回事業評価委員会（資料4-6）
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000050335.pdf>

(5) 谷沢川分水路工事

東京都では谷川分水路工事を平成30年に着手し、令和3年5月10日からシールドマシンによる推進を開始している。

令和3年5月
東京都第二建設事務所

谷沢川分水路工事の進捗状況について

現在、都が整備を進めている谷沢川分水路工事の進捗状況についてお知らせいたします。

1 進捗状況

谷沢川分水路工事は、平成30年に工事に着手し、令和3年5月10日からシールドマシンによる掘進を開始しました。

東京外かく環状道路工事現場付近での地表面陥没事象を踏まえ、トンネルの掘進に際しては、適切に施工管理を行うとともに、調査、監視体制の強化、充実を図り、安全に工事を進めてまいります。

平成30年 9月 工事着手
令和 元年 9月 発進立坑着手
令和 3年 1月 発進立坑完成
令和 3年 1月 シールドマシン設置開始
令和 3年 5月 シールドマシン掘進開始

平面図：分水路の計画ルート



製作工場でのセグメントストック状況



シールドマシン中央制御室

2 今後の予定

詳細な工事状況は谷沢川分水路工事 HP (<https://www.jp.yazawagawa>) をご確認ください。



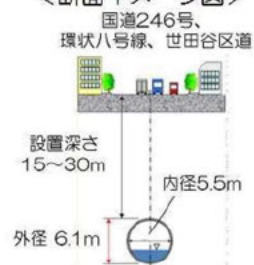
(参 考) 事業の概要

東京都が整備を進めている谷沢川分水路は、1 時間あたり 75mm の降雨による浸水被害を防ぐため、環状八号線、国道 246 号及び世田谷区道の地下 15～30m に延長約 3.2 km のトンネル構造の分水路を構築するものです。

この分水路の整備により、上流側で降った雨水を多摩川合流点付近まで地下の谷沢川分水路にバイパスさせることで、地上の谷沢川の水位を下げ、安全に流下させることができます。

- 1 施 設 名 : 谷沢川分水路
- 2 施 設 箇 所 : 世田谷区玉堤二丁目地内から
同区玉川台一丁目地内まで
- 3 事 業 期 間 : 平成 30 年度～令和 6 年度 (予定)
- 4 施 設 規 模 : 延長約 3.2 km、トンネル内径 5.5m
- 5 事 業 費 : 約 213 億円

＜断面イメージ図＞

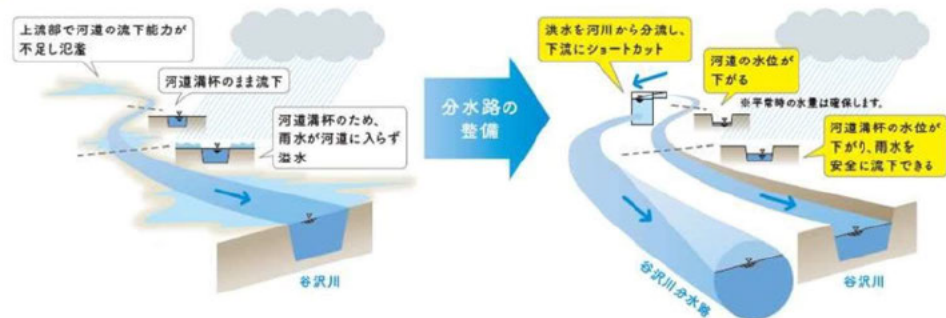


＜谷沢川分水路の整備イメージ図＞



＜谷沢川分水路の事業効果イメージ図＞

地上の谷沢川に大規模な改修を行うことなく、安全性を向上させます



谷沢川分水路PRキャラクター

《事業に関する問い合わせ先》

- ◆東京都第二建設事務所 工事第二課 谷沢川分水路整備担当
電話 03-3774-0390

《工事に関する問い合わせ先》

- ◆東京都第二建設事務所 工事第二課 谷沢川分水路工事担当
電話 03-3774-0397
- ◆東京都第二建設事務所のホームページ
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/niken/index.html>
- ◆谷沢川分水路工事ホームページ
<https://www.jp.yazawagawa>

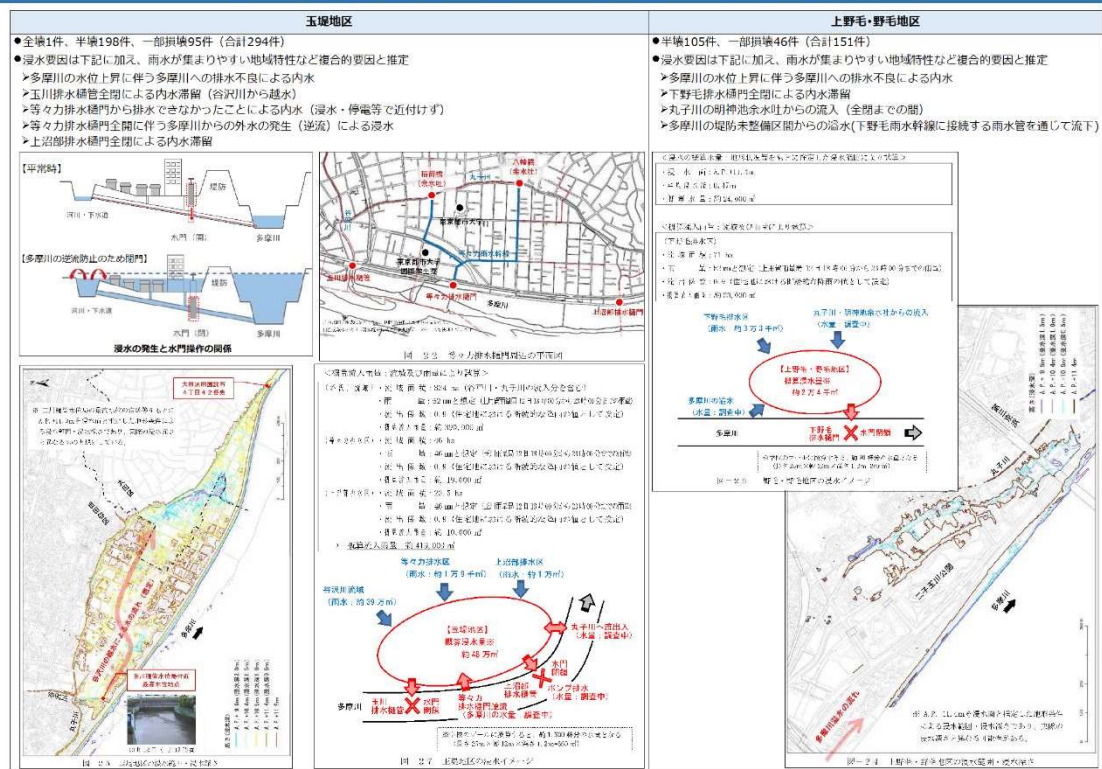
2.3 治水関係

2.3.1 被害概要

令和元年度・台風19号に伴う被害の概要について、沿道の自治体別に概要を令和2年度業務にてとりまとめているため掲載する。

(1) 世田谷区

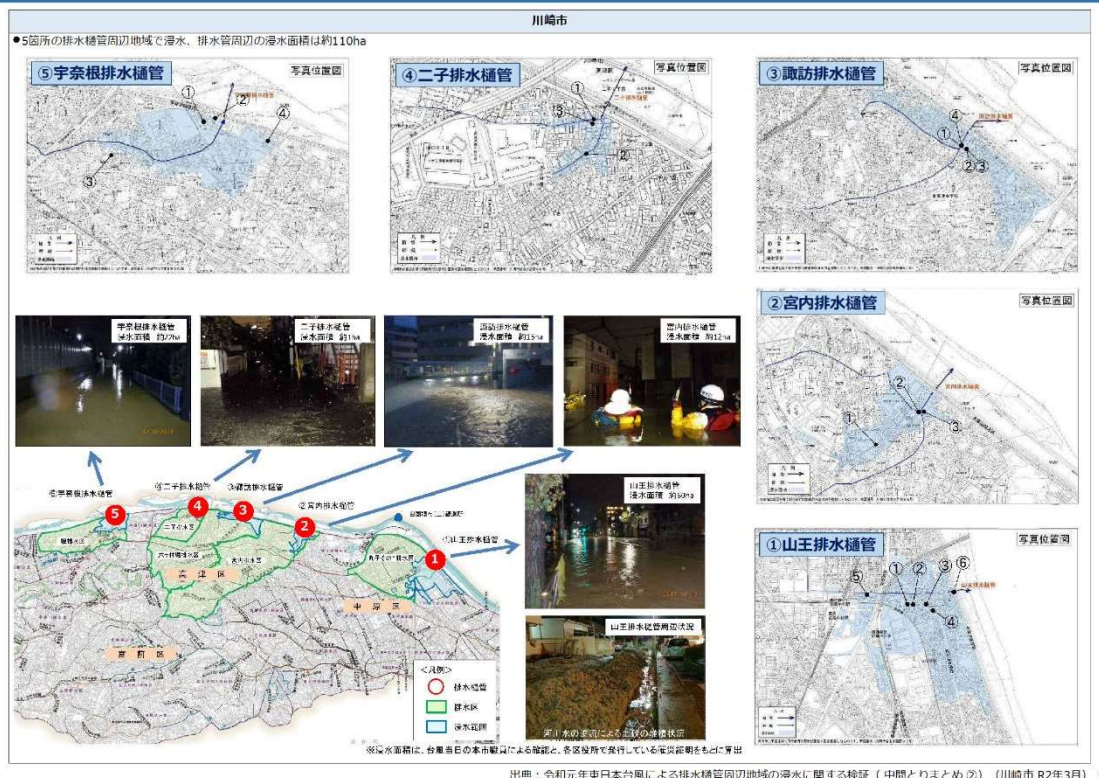
台風19号被害概要 ①世田谷区 ※最終報告は8月末頃の予定



出典：令和元年台風第19号に伴う上野毛・野毛地区、玉坂地区における浸水被害の検証について（中間報告）（世田谷区 R2年2月）

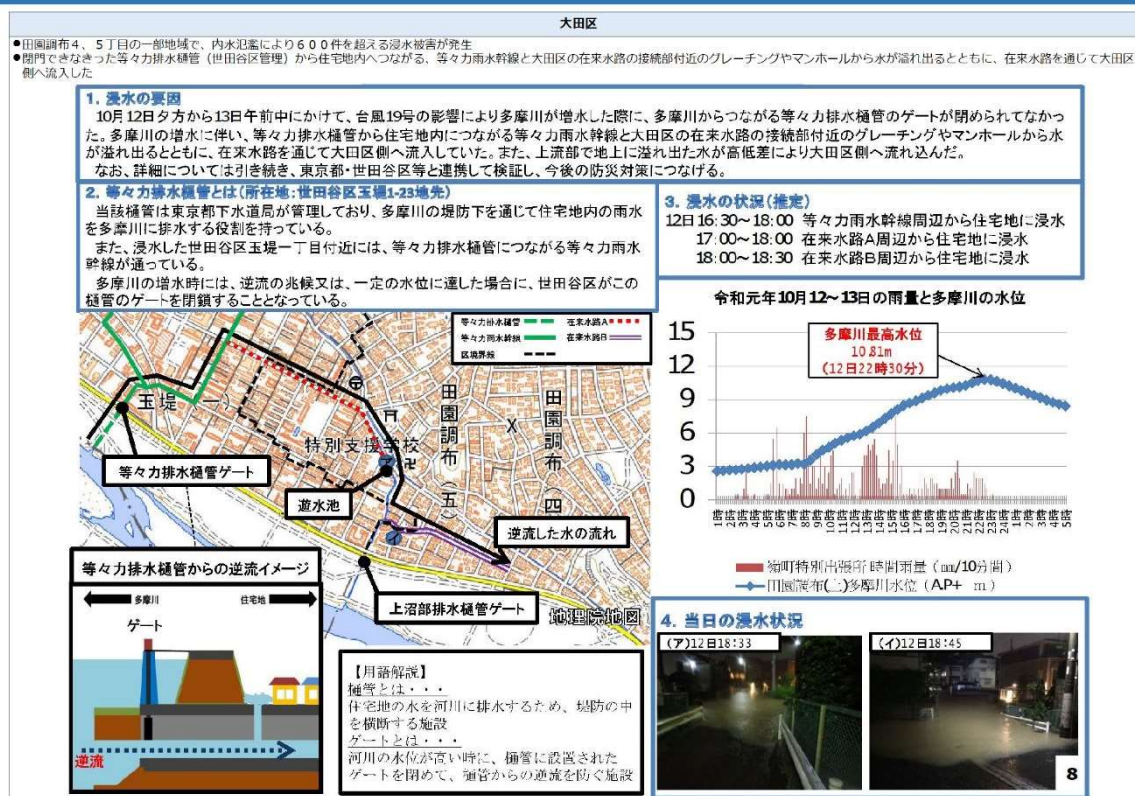
(2) 川崎市

台風19号被害概要 ②川崎市



(3) 大田区

台風19号被害概要 ③太田区



2.3.2 流域治水プロジェクト

令和元年度・台風19号に伴う被害を受けて、国土交通省関東地方整備局京浜河川国道事務所は多摩川緊急治水対策プロジェクトを発表した。

参考：流域治水プロジェクト①（国交省）

多摩川緊急治水対策プロジェクト ～首都東京への洪水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

【令和2年度版】

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。
- 国、都、県、市区が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。
- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
- ②地域が連携した洪水被害軽減対策の推進【流域における対策】
- ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】
- 令和2年度から護岸等の本格的な災害復旧や、河道掘削等の改良復旧、簡易型河川監視カメラの設置等を進めていきます。

位置図	■河川における対策 全体事業費 約191億円 災害復旧 約28億円 改良復旧 約163億円 事業期間 令和元年度～令和10年度 目 標 令和元年東日本台風洪水における本川からの洪水防止 対策内容 河道掘削、樹木伐採、堰改修、堤防整備 等 ※沿河5人の関係で自然環境が保たれる場合がある。	■流域における対策 （下水道事業等の整備促進） ・流出抑制施設の整備等 ・貯留施設（五反田川治水路（建設中））の活用による雨水貯留 ・下水道連繋等のゲート自動化・遠隔操作化等 ・移動式排水設備（排水ポンプ車等）の整備 ・土のう等の備蓄資材の配備等	■ソフト施策 ・自治体との光ケーブル接続 ・簡易型河川監視カメラの設置 ・多機能避難型タイムラインの策定、運用 ・浸水想定によるマシナイズの普及促進 ・乗船者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施 等
-------------------	--	--	--



※計数及び対策については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある

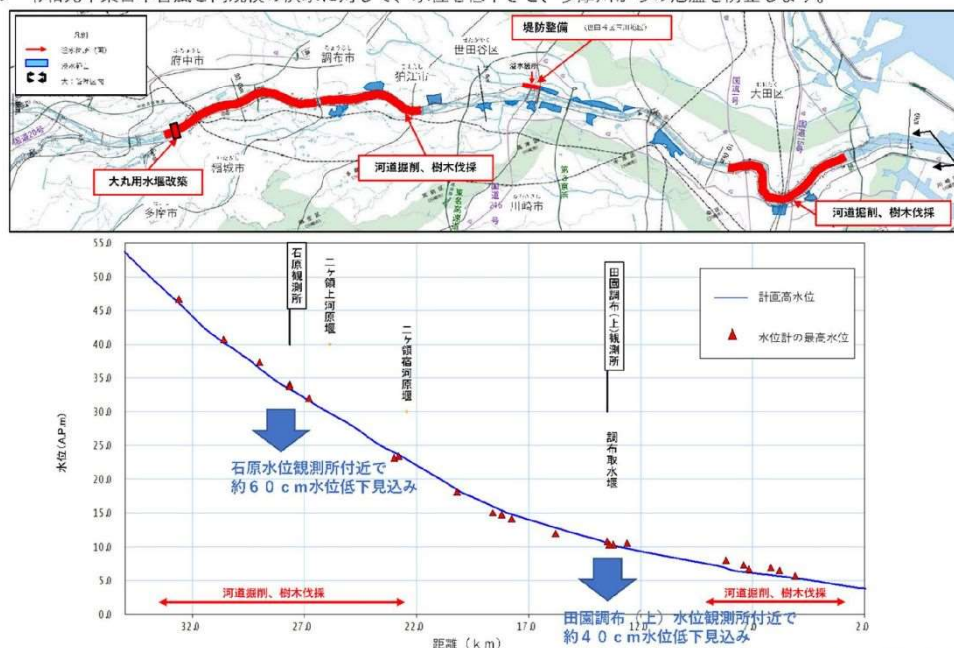
出典：国土交通省 京浜河川事務所 HP（R2年7月時点） 4

参考：流域治水プロジェクト②（国交省）

多摩川緊急治水対策プロジェクト

～河川における対策～

- 多摩川緊急治水対策プロジェクトでは、令和6年度までに河道掘削、堰対策、堤防整備を実施します。
- 令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、水位を低下させ、多摩川からの氾濫を防止します。



出典：国土交通省 京浜河川事務所 HP（R2年7月時点） 5

2.4 大規模施設

2.4.1 リニア新幹線

リニア中央新幹線は、東京都から甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近を経由し大阪市までの約438kmを、我が国独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線である。

平成26年10月に品川・名古屋間の工事実施計画について国土交通大臣が認可し、現在事業が進められている。

表 1-5 整備計画（平成23年5月26日 国土交通大臣決定）

建設線	中央新幹線	
区 間	東京都・大阪市	
走行方式	超電導磁気浮上式	
最高設計速度	505キロメートル／時	
建設に要する費用の概算額 (車両費を含む。)	90,300億円	
その他必要な事項	主要な経過地	甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近

(注)建設に要する費用の概算額には、利子を含まない。

出典：リニア中央新幹線建設促進期成同盟 HP

<http://linear-chuo-shinkansen-cpf.gr.jp/gaiyo1.html>



図 1-21 ルート計画図

出典：リニア中央新幹線 HP <http://linear-chuo-shinkansen.jr-central.co.jp/plan/>

公表されている「大深度地下使用法の手続き大深度地下の公共的使用に関する特別措置法に基づく使用認可申請書の公表について（平成 30 年 5 月 9 日）」において、以下の路線計画が示されている。

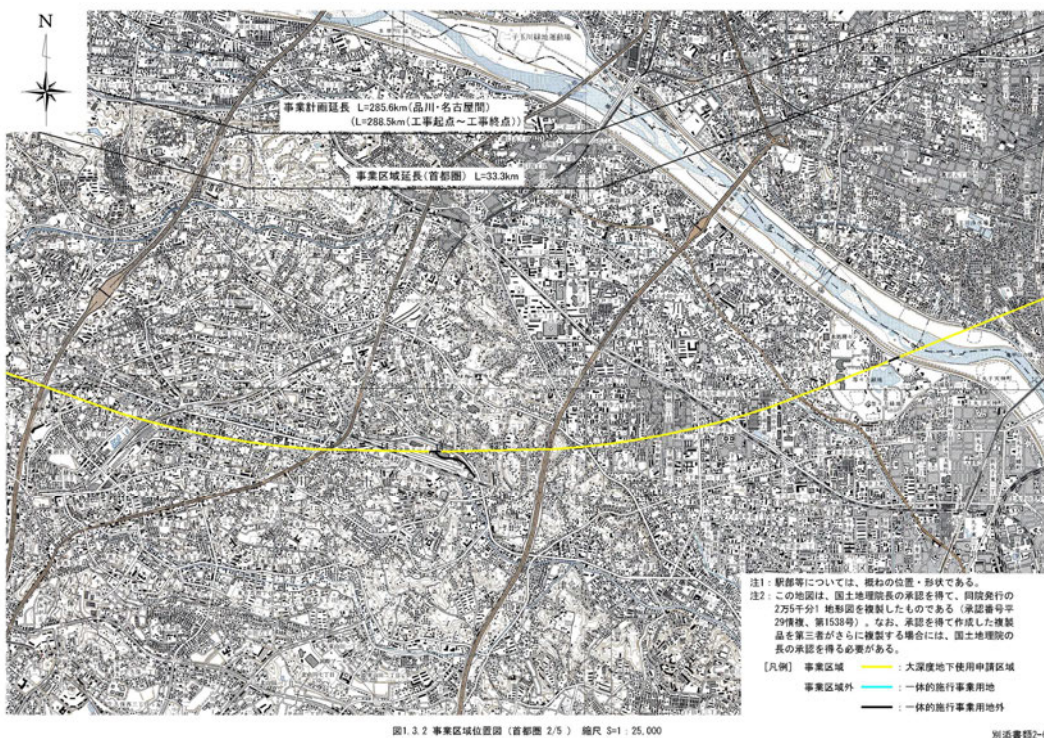
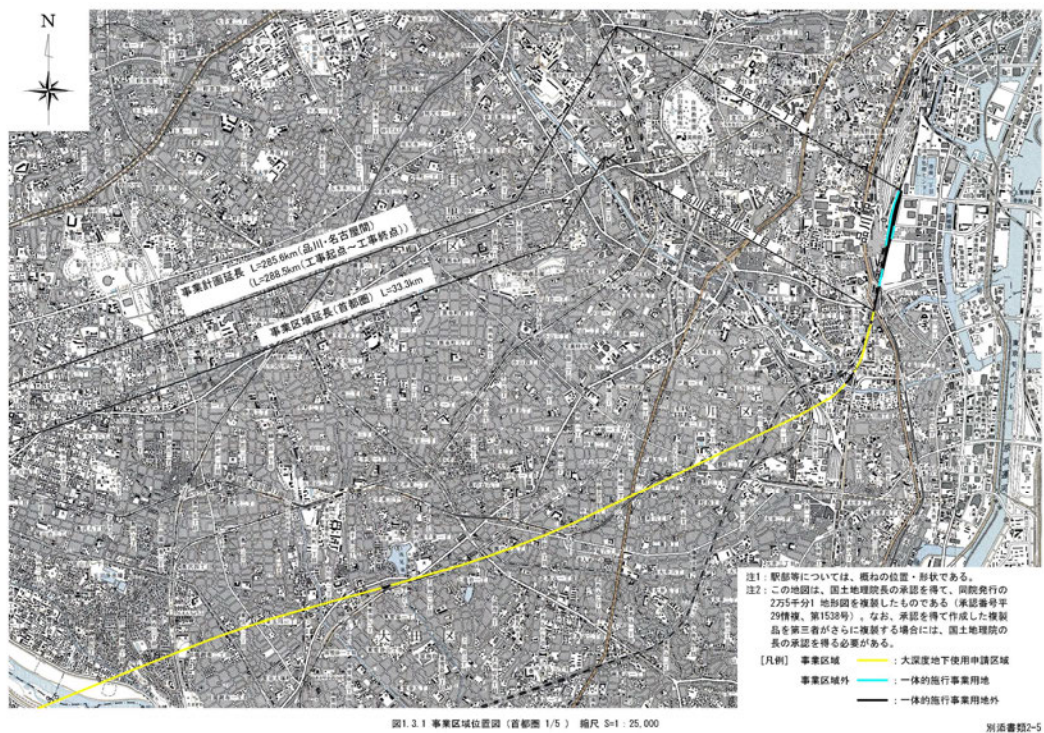


図 1-22 路線計画（平面計画）

出典：大深度地下使用法の手続き大深度地下の公共的使用に関する特別措置法に基づく使用認可申請書の公表について（平成 30 年 5 月 9 日）

<https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/daishindo/shiyoninka/>

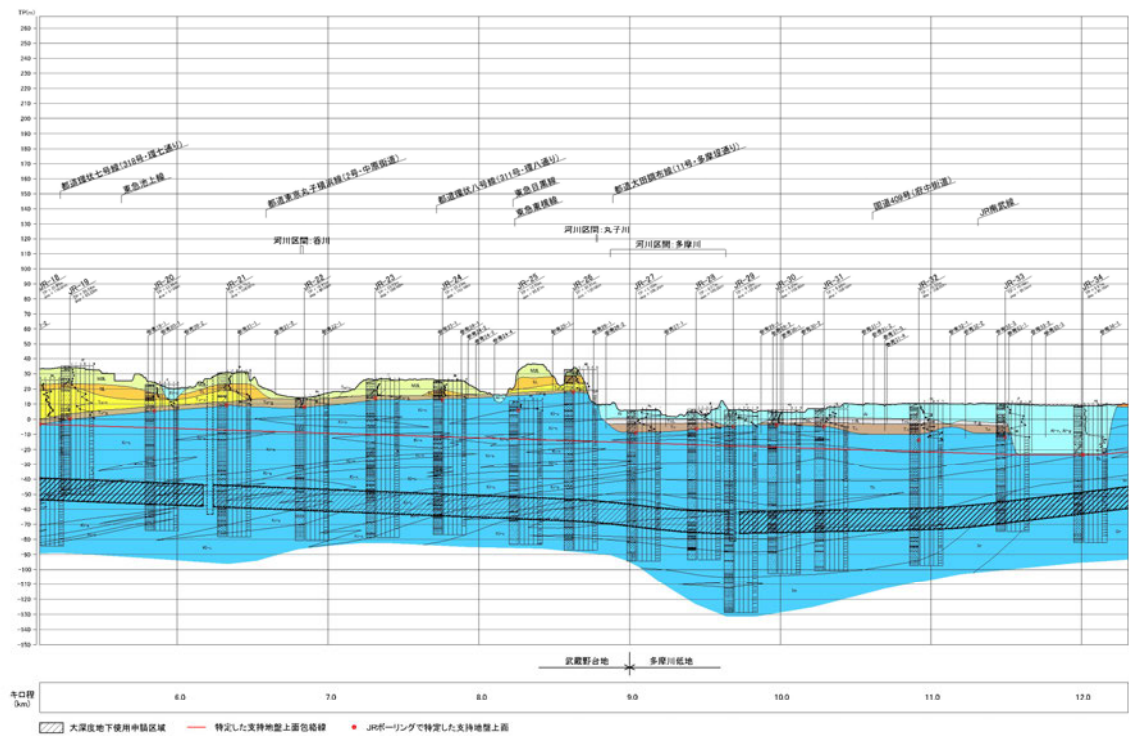


図4.3.2 特定した支持地盤と支持地盤上面包絡線(首都圏) (2/7) 縮尺 H=1:20,000 V=1:2,000

別添書類3-62

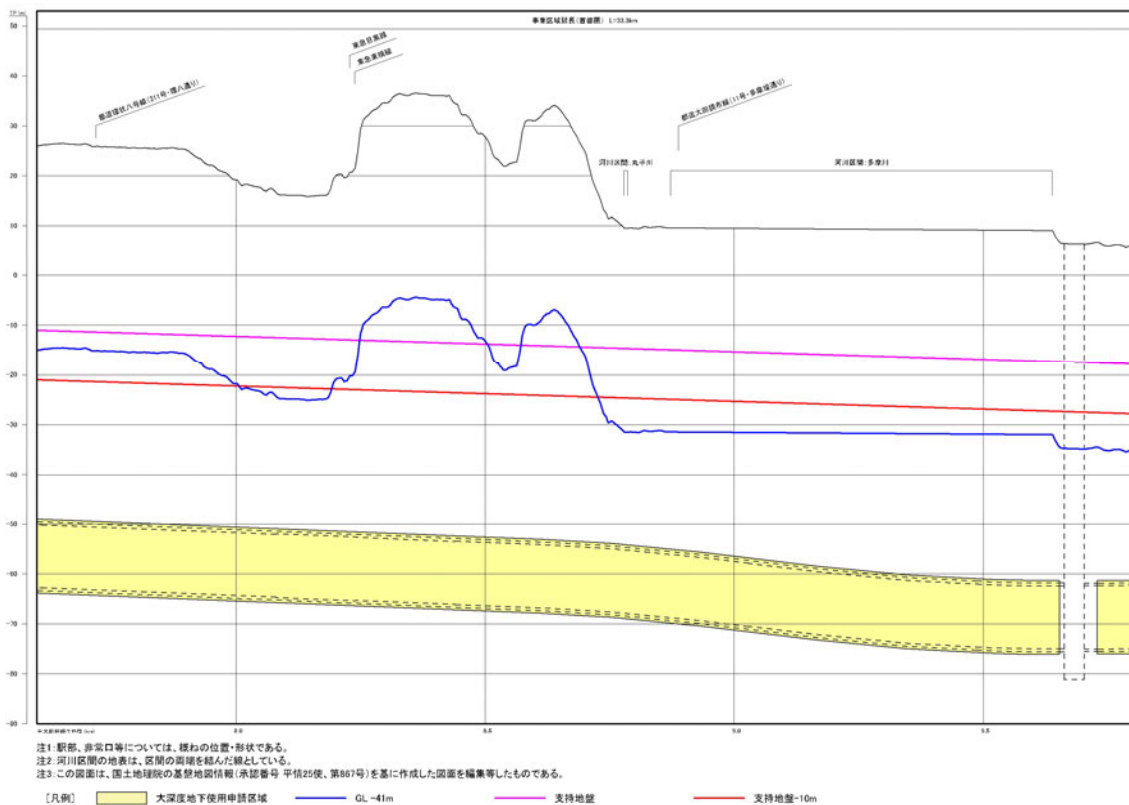


図5.4.5 大深度地下特定縦断面(首都圏 5/22) 縮尺 H=1:6,000 , V=1:600

別添書類3-101

図 1-23 路線計画(縦断計画)

出典：大深度地下使用法の手続き大深度地下の公共的使用に関する特別措置法に基づく使用認可申請書の公表について（平成 30 年 5 月 9 日）

<https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/daishindo/shiyoninka/>

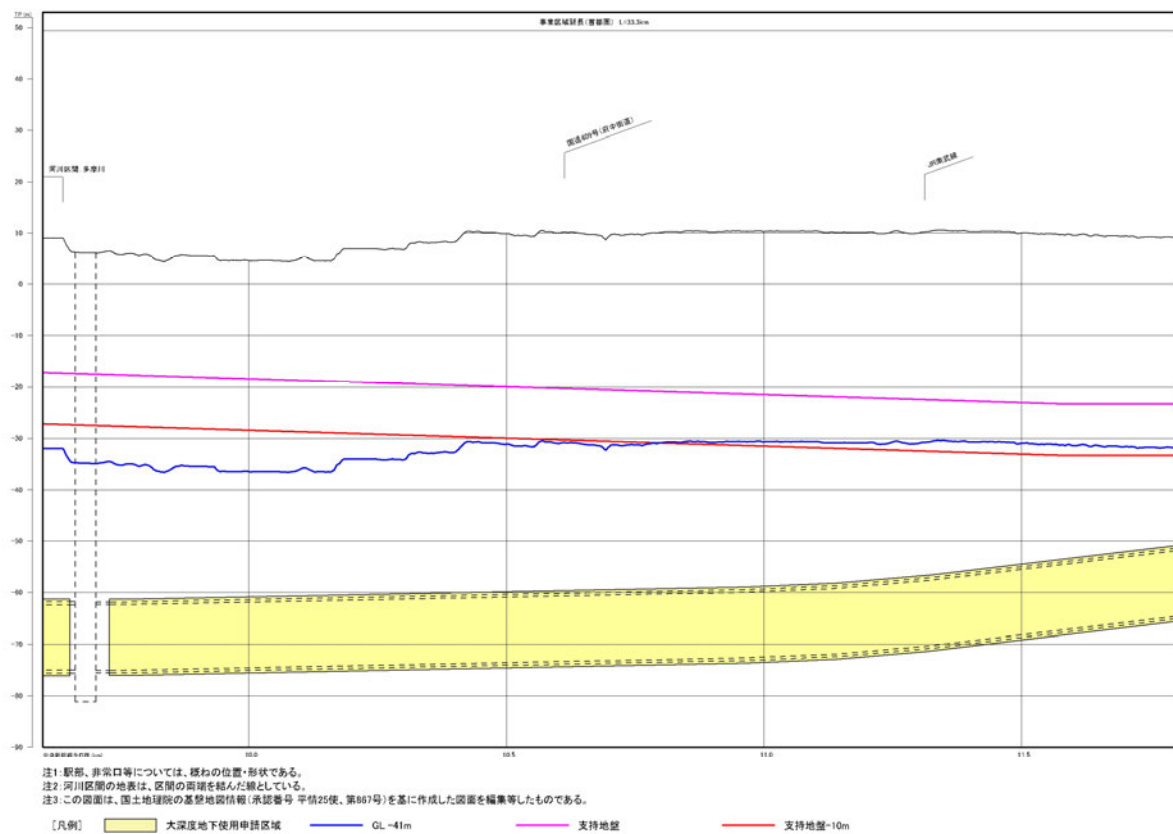


図 1-24 路線計画(縦断計画)

出典：大深度地下使用法の手続き大深度地下の公共的使用に関する特別措置法に基づく使用認可申請書の公表について（平成 30 年 5 月 9 日）

<https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/daishindo/shiyoninka/>

2.4.2 蒲田駅周辺

蒲田駅周辺の国道 15 号と環状八号線交差部を立体化する事業が進められている。東京都、大田区、京浜急行電鉄の 3 者により進められている京浜急行の連続立体交差事業とあわせて周辺の交通混雑緩和に期待できる事業である。



図 1-25 蒲田駅周辺立体化事業

出典：川崎国道事務所事業概要パンフレット

2.5 周辺連絡施設

2.5.1 周辺連絡施設（東名高速）

これまでに公表されている東名 JCT の情報を下記に記載する。

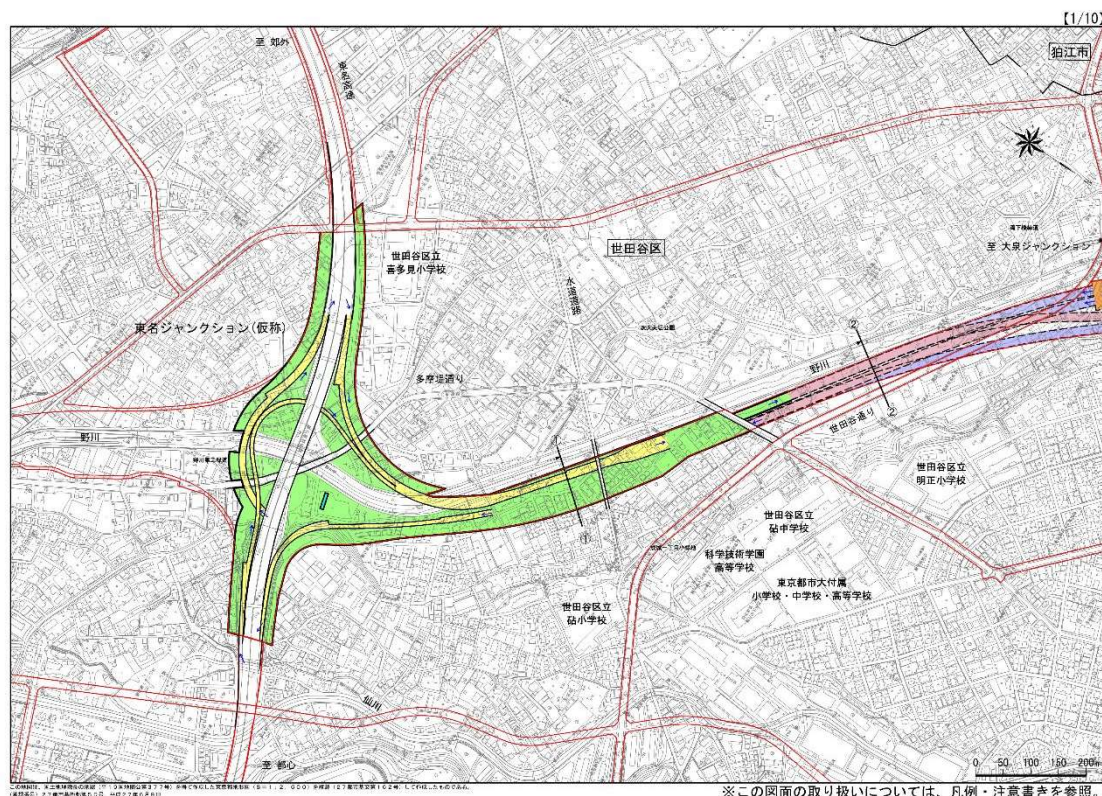
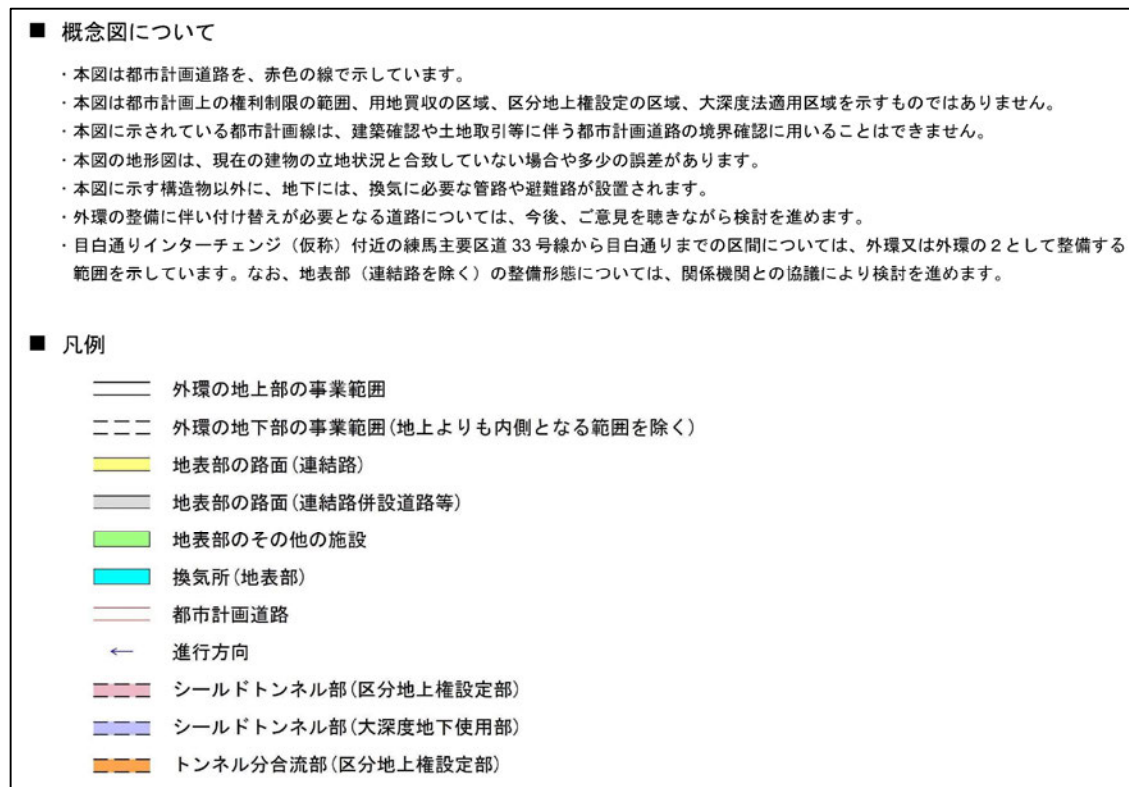


図 1-26 東名 JCT 概念図

出典：国土交通省近畿地方整備局 (https://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/gaiyo/shinntyoku/img/mokei_toumei.pdf)

2.5.2 周辺連絡施設（首都高速神奈川1号横羽線）

首都高速では現在の大師JCTの整備を暫定型としており川崎縦貫との連絡を待つ形状となっている。

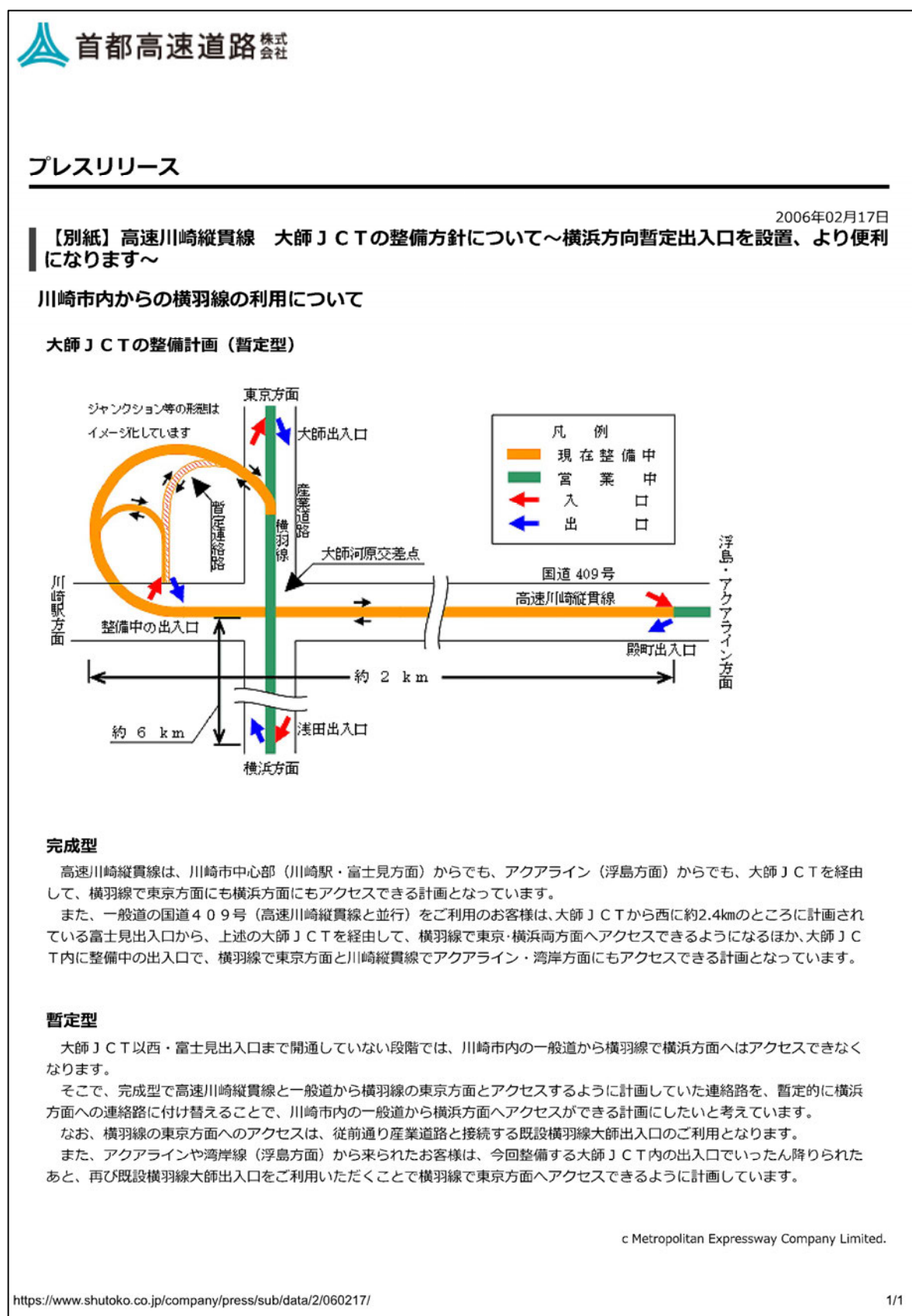


図 1-29 既存大師JCTの形状

出典：首都高速道路株式会社 (<https://www.shutoko.co.jp/company/press/sub/data/2/060217/>)

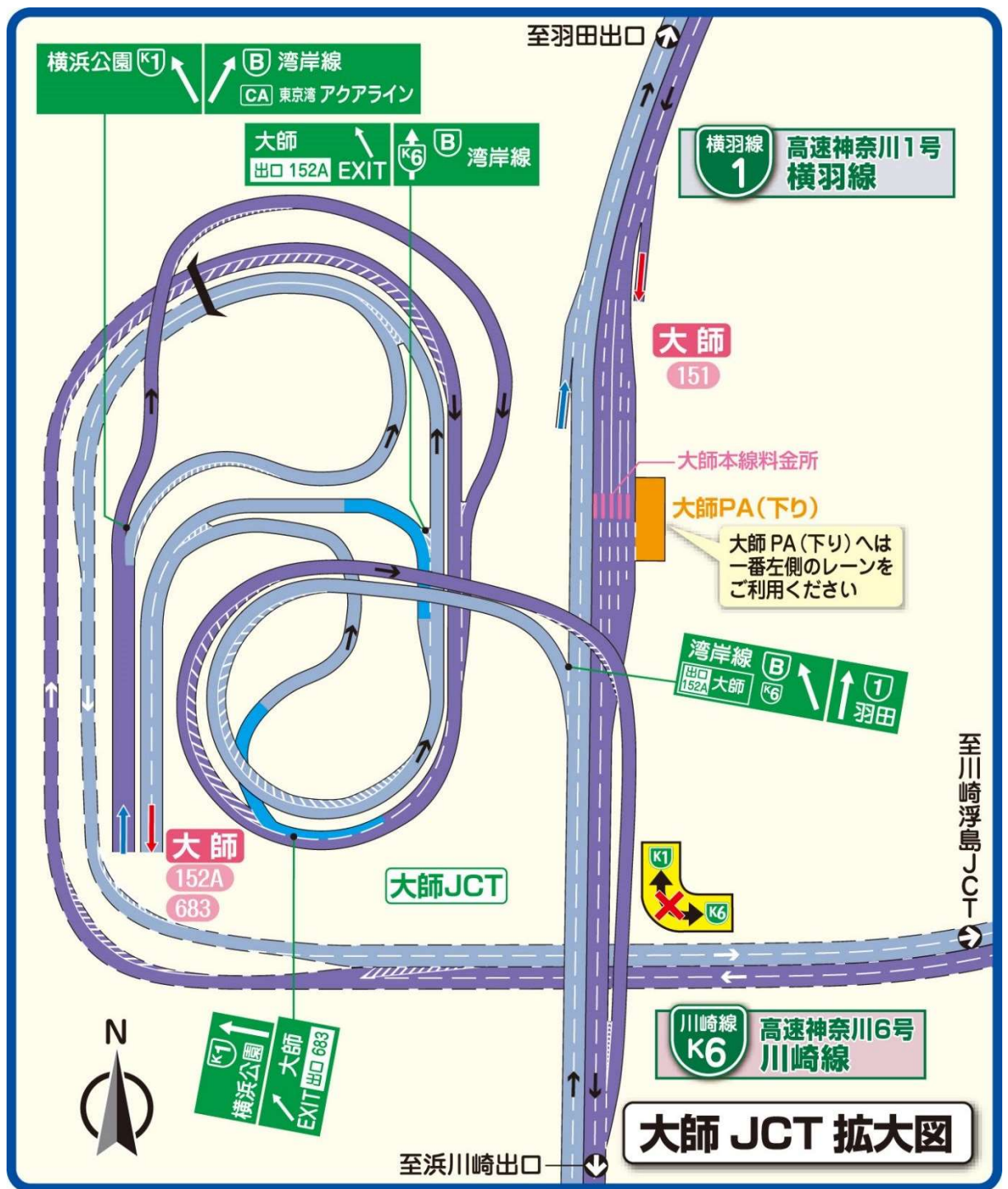


図 1-30 既存大師 JCT の形状

出典：首都高速道路株式会社 HP

https://www.shutoko.jp/use/network/jct/~media/Images/customer/use/network/jct/routeguide/jct_daishi

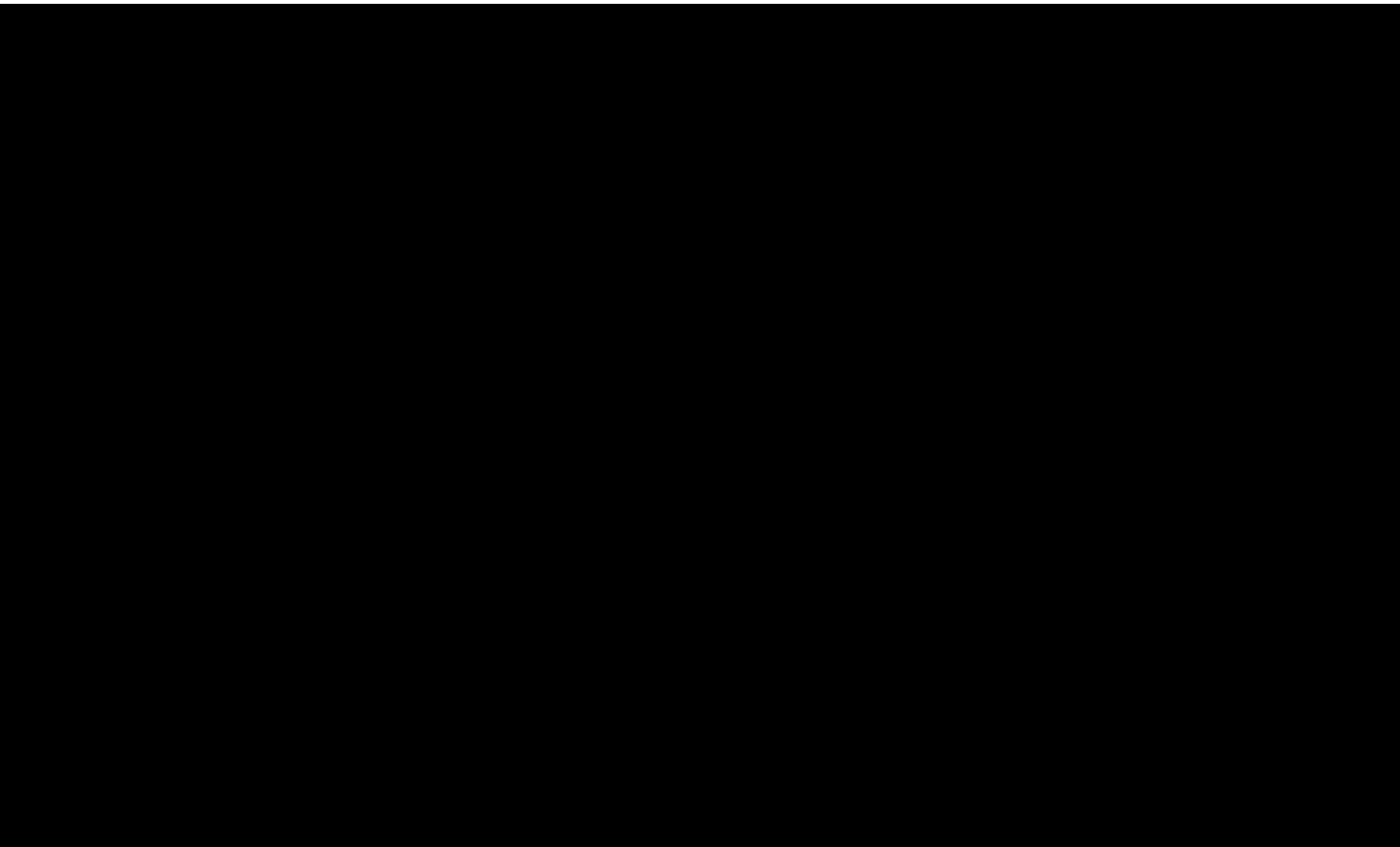


図 1-31 大師 JCT の検討

出典：H29 東京南西部概略計画検討業務，平成 30 年 3 月，中央復建コンサルタンツ株式会社

2.6 コントロールポイント図の基となるデータ

2.6.1 ベース地形図

R2年度に国土地理院より地形図を入手しており、最新を確認した上で業務を実施している。

使用目的	3Dモデル作成するにあたり、 ①現況状況を再現するための「空中写真データ」、 ②建築物モデルの情報取得のため「点群Z値差分から建築物高さ抽出」
最終成果品名 ※参考資料として使用する場合は記入不要	3次元モデル
成果品の利用対象者 ※参考資料として使用する場合は記入不要	関係者協議や報告書への使用予定
提供を希望する地理空間情報の種類	①空中写真データ ②航空レーザ測量データのうちグラウンドデータ及びオリジナルデータ
地理空間情報の範囲・年代等 (必要に応じ別紙に記入)	基盤地図情報での2次メッシュ番号 ・533924 ・533925 ・533926 赤文字(※2で追加する新たなメッシュ) 提出時は黒にて提出してください ・533934 ・533935 ・533936

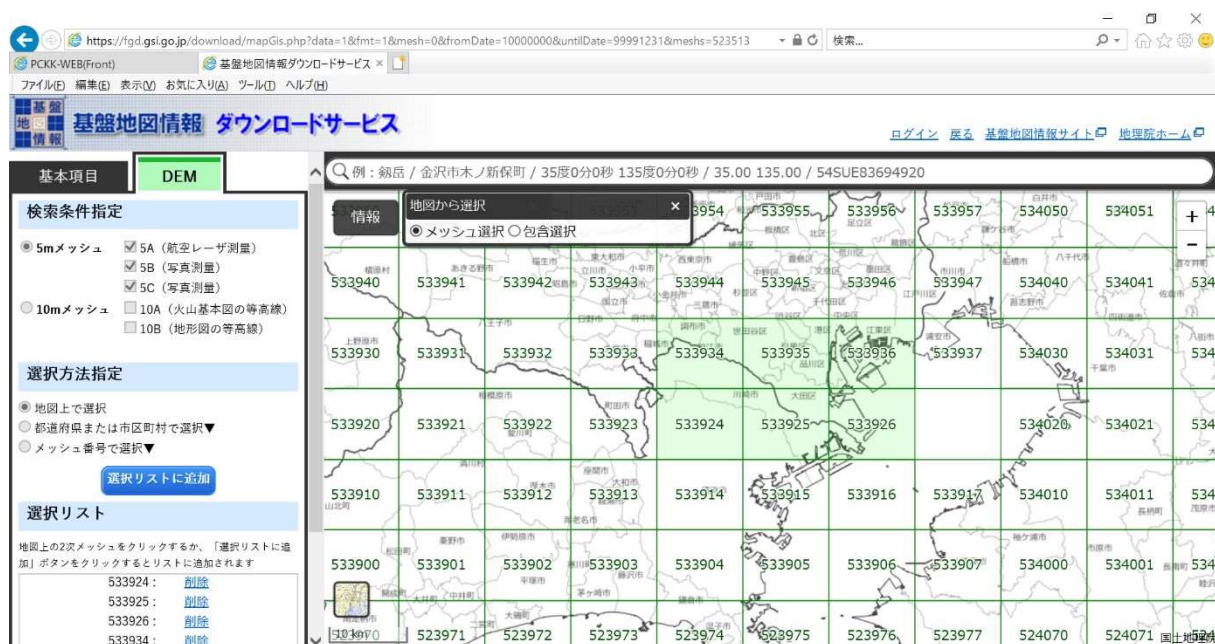


図 1-32 入手範囲

出典：国土地理院 基盤地図情報ダウンロードサービス HP

2.6.2 補完地形図

2次メッシュの地形図では高さ情報が不足する場合の補完資料として 1/2500 の地形図を入手した。

(1) 東京都

『東京都都市整備局 HP「東京都縮尺 1/2500 地形図」の利用について』に従い発注者を通じ R3 年度に 1/2500 地形図を入手した。

URL : https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/kiban/map_user/index.html

(2) 川崎市

川崎市 HP で販売されている「川崎市デジタル地形図 2500」を活用した。

URL: <https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000008526.html>

2.6.3 コントロールポイントデータの出典及び更新年月

コントロールポイントとして図面上に図示している各種施設等は以下の情報を基に整理を行っている。

確認の結果 R4 年度 5 月時点で R3 年度整理時よりも更新されていた項目について更新を行った。

表 1-6 コントロールポイントデータの出典及び更新年月（赤文字が更新箇所）

入手基	項目	更新年月日 又は更新内容の整理日	備考
国土地理院 基盤地図情報	建物外周枠	2021 年 7 月 1 日	
	道路縁	2021 年 7 月 1 日	
	軌道の中心線	2021 年 7 月 1 日	
国土交通省 国土数値情報	用途地域	令和元年度	
	医療機関	令和 2 年度	
	学校	平成 25 年度	
	幼稚園	令和 3 年度	
	警察署	平成 24 年度 10 月	
	公共施設	平成 18 年度	
	国都道県の機関	平成 25 年度	
	市町村役場	平成 26 年 8 月	
	市町村役場等 及び公的集会施設	平成 22 年 4 月	
	都市公園	平成 23 年度	
ガイドマップかわさき 東京都遺跡地図情報イ ンターネット提供サー ビス	古墳・史跡・文化財	R3 年 5 月確認 どの時点で更新が行わ れているかは確認でき ない	
国土地理院提供 DEM(航空レーザ測量) 情報	高層建物	R2 年度入手	R3 年度 ルート周辺のみ目視で 10 階以上の建物を分類
GEOSPACE CDS プラス (市販地図)	大規模施設、寺社、仏閣	H31 年度更新	
その他	大規模施設 ・等々力大橋（仮称） ・谷沢川分水路工事	R3 年度更新	
	国指定文化財川崎水門	R4 年度追加	